



「インフラメンテナンス国民会議」近畿本部の発足

自治体インフラメンテ研究会西日本地区幹事 小谷 義博

平成 28 年 11 月 28 日の総会で設立した「インフラメンテナンス国民会議（以下、国民会議）」の概要については本 CNCP 通信 32 号で紹介されているが、その中で主要業務を行う 6 つのフォーラムの一つである近畿本部に関係しているため、その経緯と活動方針等について紹介しておきたい。

1) 近畿本部発足の経緯

「国民会議」については、その設立に向けての大規模な意見交換会が平成 27 年 12 月及び 28 年 4 月の 2 回に分けて、国土交通省総合政策局の主催で開催され、そこで得られた多種多様の課題を集約して、当面の 7 つの戦略として論点整理がなされた。その後 6 月から 10 月にかけて、月に 2, 3 回の割合でそれらの戦略に基づきいくつかの主要な課題について勉強会が開催され、それが「国民会議」の主要な議論の場である 6 つの公認フォーラムに結びつき、その 1 つとして近畿本部に発展したという経緯がある。

その後平成 28 年 10 月 20 日の発足準備会を経て、12 月 15 日国交省国土政策局および近畿地方整備局の関係者を招いて近畿本部の発足式が執り行われた。

2) 近畿本部の目的と役割

- 【目的】
- ① 近畿地方における革新的技術の発掘と社会実装
 - ② 近畿地方における企業等の連携の促進
 - ③ 近畿地方におけるインフラメンテナンスの理念の普及。
 - ④ 近畿地方におけるインフラメンテナンスへの市民参加
- 【役割】
- ① 自治体支援を目的としたグループ討議の開催
 - ② 自治体のニーズ等の収集と情報発信・民間のシーズ等の収集と情報発信
 - ③ メンテナンス技術の提案・議論の場の開催
 - ④ 企業マッチングのコーディネート等

3) 組織と当面の活動

近畿本部発足時の組織は右図の通りであるが、当面の具体的活動としては、

- ① 自治体のニーズ等の収集と民間のシーズ等の収集と整理、及びそれに基づくフォーラム開催
- ② ワーキンググループの基盤醸成と平成 29 年度活動スタートに向けた取り組み

が上げられている。

近畿本部の事務局は(一社)国土政策研究会関西支部が担当しており、その組織の厚い層からの人材の派遣もある。CNCP もその研究会の一員として積極的にその活動に関わり、全国の地方展開にも寄与したいと考えている。

